

健やかな学校生活のために



令和3年1月発行
四日市市教育委員会

新型コロナウイルス感染症が猛威をふるった令和2年が終わり、新しい年を迎えました。とはいえ、令和3年も、新型コロナウイルス感染症とともに過ごす日々が続くと思われまます。『四日市市学校感染症だより』では引き続き、ご家庭でご協力いただきたいこと、また、お子様やご家族の健康管理に役立つ情報等をお知らせしていきます。ぜひご家族でお読みいただき、感染防止にお役立てください。

※ 『四日市市学校感染症だより』は四日市市ホームページでもご覧になれます。

四日市 感染症だより

検索 

「できること」を「続ける」～基本的な対策を確実に～

ある感染症専門医の先生は、感染症対策を「短距離走ではなくマラソンだ」と例えています。感染を予防するには、基本的な対策を今後も確実に続けていくことが大事です。

【感染症対策 3つのポイント】

文部科学省『衛生管理マニュアル Ver.5』より

(1) 感染源を絶つ	外からウイルスを持ち込まない!	◇発熱等の症状があれば、無理して登校せずに休養を
(2) 感染経路を絶つ	ウイルスを体に入れない!	◇飛沫感染を防ぐ・・・マスク、換気 ◇接触感染を防ぐ・・・手洗い、目・鼻・口を触らない
(3) 抵抗力を高める	ウイルスに負けない!	◇十分な睡眠 ◇適度な運動 ◇バランスの取れた食事

(1)と(2)が目されがちですが、(3)も大事なポイントです！
3学期も、学校はご家庭との連携をいっそう強めて、感染防止に努めます。



感染症に関するQ & A

四日市市学校保健会役員の歯科医師に聞きました。

Q. マスク生活が長くなってきました。口や歯の健康を保つために、注意することはありますか？

マスク生活の代表的な肌トラブルは「ニキビ」や「かぶれ」。その原因は「乾燥」です。乾燥を防ぐために大事なものは「保湿」です。口や歯の健康も、実は肌と同じことがいえます。つまり、口の中や歯の表面が乾いている状態は良くありません。口にある保湿剤は「だ液」です。だ液には、抗菌作用や保護作用、消化作用や再石灰化作用などの働きがあります。大人は加齢などによりだ液が減ることもありますが、子どもの口が渇く原因は、多くが「口呼吸」です。人間の呼吸器は、鼻・咽頭・喉頭・気管・肺であり、口ではありません。常に開いている口は無防備な状態で、細菌やウイルスが直接体内に侵入します。それが、歯の着色や汚れのこびりつき、歯肉の腫れ、強い口臭などの症状の原因となることがあります。

マスクの中のお口、ぽかんと開いていませんか？食事はよく噛み、だ液をたくさん出しましょう。そして、息はお鼻でしましょうね。

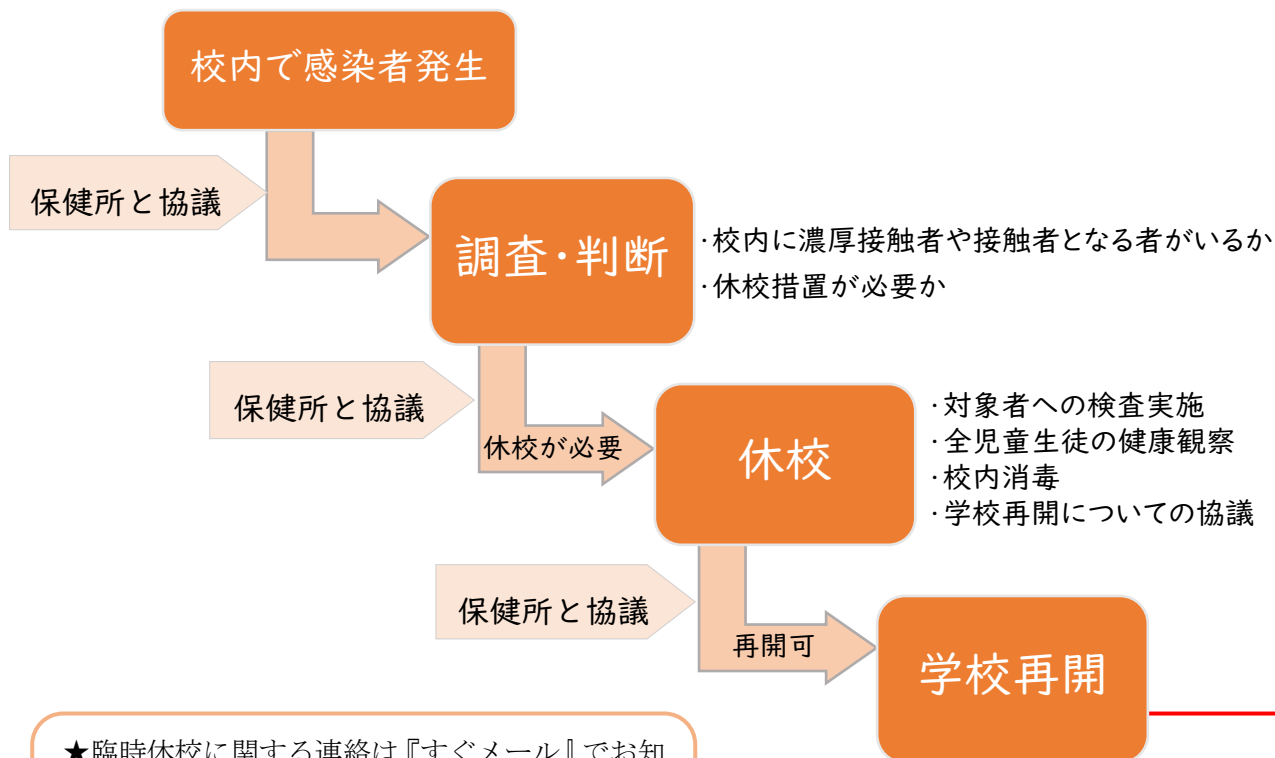


理事 井上 博先生
(学校歯科医)

感染者が発生したら ～臨時休校の考え方～

児童生徒や教職員から新型コロナウイルスの感染者が出た場合、教育委員会は保健所と協議し、臨時休校が必要かどうかを判断します。臨時休校中に、濃厚接触者・接触者への検査や全校児童生徒の健康観察等を行います。そして、検査や健康観察の結果をもとに、再度保健所と協議し、学校再開までに必要な期間（1～3日間程度）を決定します。そして、学校再開日を『すぐメール』でお知らせします。

保護者の皆様には、休校中のお子様の健康観察をお願いすると共に、その期間中はお子様の外出を控えていただき、感染拡大防止にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



★臨時休校に関する連絡は『すぐメール』でお知らせします。未登録の方は登録してください。また、メールを受け取ることができない方は、学校と連絡方法について相談をしてください。

★検査を受けた人は、保健所から、別途、自宅待機の要請を受ける場合があります。

★**お子さん**または**同居家族の方が**
新型コロナウイルス感染症の検査を受けることになったら連絡を!

★検査結果が分かるまで、**お子さんの自宅待機**にご協力を!

(出席停止とし、欠席にはなりません。)

月～金 学校へ 小学校 7:45～18:00 中学校 7:45～19:00	土・日・祝 専用電話へ 9:00～17:00 090-7916-0861 / 080-2642-0967
--	---